

令和5年度

6月ころばん体操出前講座

講話『家で「いい時間」を過ごす』訪問看護ステーションさくら 所長 畑中 勇二

どんな状態の人でも自宅で暮らしたいと思えば家で過ごせる手段があります。国も、医療費や介護費の出費を抑える為に在宅医療の体制づくりをすすめています。訪問看護は、医療や介護が必要になっても自宅で過ごしたい人のご希望に沿って24時間365日必要に応じて駆けつけます。自宅に訪問して健康状態のチェックやリハビリや入浴の介護、認知症の方の精神的な援助、お薬が管理できない人の援助を行っています。ご家族で看取るためのサポートをして、ご家族だけで見守りながら亡くられるケースが多いです。癌の患者さんは最後まで痛みを訴えるイメージがありますが、薬も開発されて痛みをかなり緩和して自宅で過ごすことが楽になっています。在宅医療は病気と闘うのではなく病気のその人に寄り添い、見守る医療です。

訪問看護は、～安心、お守り、訪問看護～と覚えてください。自宅という特別個室にいて必要な時に看護師さんが駆けつけるというイメージで訪問看護を知っていただきたいと思います。

酔之尾東公民館 令和5年6月23日(金) 14:00～15:00 参加者 計7名(女性7名)



今住んでいる家でいつまでも暮らしていきたいなあと思っていますよ・・・だけどねえ、出来るかはわからないですよ・・・家で死にたいと思っていますけど・・・一人だからできないと思います。

うちの娘も看護師で訪問看護をしています。最後は娘のうちに行くと思います。

どの状態になったら介護申請が必要になるのか・・・よくわからないので教えてほしいです。

私も親を自宅に連れて帰って看たいと思いましたが、状態がかなり悪くなって、もうそういう状況ではなかった・・・こんな話を知っていたらよかったかもしれない。

みこし会 令和5年6月30日(金) 9:30～10:30 参加者 計27名(男性9名・女性18名)

いつまでも自宅で暮らしていきたいとの回答では1/3の方が挙手されましたが、「自宅で死にたい」との回答には半分強の方が挙手されていました。

「やっぱり自分の家で亡くなりたと思っています。」
”ピンピンころり”で亡くなりた、の問いに皆さん肯いたり、笑ってほぼ全員が手を挙げられました。



7・8月ころばん体操出前講座

照寿会（照島下公民館）

令和5年7月13日(木) 10:00～11:00 参加者 計21名(男性1名・女性20名)



「いつまでも自宅で暮らしていきたい」
「病気のになっても家で暮らしたい」
の意見が8割以上ありました。
「自分の家で亡くなりたい」については
9割ほどの方の挙手がありました。
「ピンピンコロリで亡くなりたい」
皆さんが元気に挙手されました。
「介護への不安がある」という方が一人挙手がありました
訪問看護ステーションは、どこにありますか・
今は元気にいますが、これからいろんな事でお世話になると思
います。

塩屋町公民館 令和5年7月26日(月) 10:00～11:00 参加者 計21名(男性3名・女性18名)

- ・「出来るだけ家で暮らしていきたい」9割の方が挙手されました
- ・「家で最期を向かえたい」・・ほぼ100%の方が挙手されました
- ・「自分が申請とかできなかつたり、いけない時に誰か付いてくれる人とかいるんですか・・」
- ・買い物など出来なくなった時にも訪問看護にお願いできるんですか
- ・訪問看護を利用した時、どのくらいかかるのか費用を教えてください
- ・知識や情報などはあった方がいいので、親を介護した昔もよく理解できていたらもっと納得のいく
生き方をしてあげられたと思います。自分の時には活用し悔いのない人生を送りたい。
- ・一人暮らしで子供達も遠方にいます。自分がどのような状態になった時に契約を考えたらいいか聞きたい



町づくり協議会福祉部（川北交流センター）

令和5年8月23日(水) 10:00～11:00 参加者 計16名(男性4名・女性12名)



- ・具体的で分かりやすい講話でした。確かな知識を説明下さりよかったです。
- ・知り合いのお母さんが要介2の認定がでたが、病院で役所に行ってくださいと言われ、役所では居宅を決めてくださいと言われた・・介護が分からず娘さんが困っていらっしやいました。近くの居宅を紹介しましたが、もう少し踏み込んで説明してもらいたいです。
- ・本当に一人暮らしの高齢者が在宅医療が可能なのか・話の中では可能と言われましたが実際にはどうなのかと思っています。
- ・「ケアマネさんとの関り」、「居宅の選択について」や、「がん治療について」など、もう少し話が聞きたかった等のコメントが挙がっていました。